

一ターがあったら良いのになと思っています。

／ 最 後 に ！

3.11 から 10 年が過ぎ、町も復興し、新型コロナウイルスも 5 類と落ち着いた、今年令和 6 年元旦、能登半島地震が発生、石川県門田町走出（いしかわけんもんでんちょうはしり）で、羽咋郡志賀町香能（はくいぐんしがまちかのう）で震度 7 の強い地震が起こり、多数の被災者や、住宅が崩壊し希望が持てぬまま、仮設住宅の入居に、最後の望みを賭けていても、吉報がなかなか聞けない人がどのくらいいるのでしょうか？『天災は忘れた頃にやって来る』と言いますが、コンピューターのコンピューター技術が進み、週間天気予報が当たるようになって、大災害がいつ来るかが、予想が付かないのは本当にもどかしいものです。備えあれば憂いなし。みなさんも日頃からの心構えを、しっかりとしておきましょう。

.....

我が自立生活センターたいとうの理事長の鶴岡さんに書いて頂きましたが、浅草公会堂の進歩は目覚ましいものがあります。浅草寺の境内や、浅草神社も抵抗なく、車いすで上がれることは、実に喜ばしいことです。私自身も私の両親も浅草生まれの浅草育ち。三社祭の時期は、心ワクワク、楽しい気分になってきます。

しかしそんな浅草を、否定させる出来事に遭遇してしまいました。会社員が出張先のまちで、空腹を覚え、偶然入った飲食店で、食事を楽しむといったドラマです。そのドラマに使われる飲食店は、その街に実際に存在する店です。出てくる料理も、そのお店で実際に、出しているものです。ただ違うのはドラマなので、店の店員も、客もすべて俳優がやっています。そのドラマのある回に、浅草のある飲食店が舞台として使われた回があり、そのお店で出している、「オムカレー」というものを注文し、食べているシーンがあり、美味しそうで、電話番号を調べて、掛けてみました。店員さんらしき人が出たので、注文している途中で、電話を切られました。どうやら、私の言語障がい分らなかったのだろうと察しは付きましたが、念のためもう一度かけてみましたが、結果は同じでした。そんなことは、言語に障がいがある人なら、いくらでも有るはなしで、やり過ごせば、よもやま話になるかもしれません。しかし今の世の中客商売で、そんな対応をする店がある

